



大阪 安全宣言。

地域における防犯活動への取組

地域住民と自治体などとの連携による 地域防犯力の向上を目指して！！

大阪府では、平成21年度から地域の防犯ボランティア活動の拠点となる「地域安全センター」の設置を行っています。

センターは年々増加し、それに伴い、府内各地域において、地域住民のみなさんや自治体による防犯活動の取組みも活発化し地域の防犯力向上につながってきました。

大阪府は、今後も地域の防犯力向上のため、地域安全センターなどを活用した取組みを積極的に紹介していきます。



堺市の夜を守る「さかい提灯部隊」

堺市では、昨年11月からNPO法人と協働し、主に深夜にかけて自転車でパトロールを行う「さかい提灯部隊」活動を始めています。

パトロールは、2名1組で提灯を付けた自転車に乗り、公園にいる子どもに声をかけて帰宅を促したり、深夜に1人で歩いている女性に、注意を促すなどの防犯活動を行っています。

活動中には、徘徊していた高齢者を発見したり、パトロール中に住民から激励を受けるようになり、着実に市民へ同隊の活動が浸透してきています。

高石市清高小学校区では、これまでも地域ぐるみで、児童の見まもり活動が盛んに行われていましたが、児童の見まもりや地域の安全安心の輪をさらに広げるため、2月29日に、自治会や地域のボランティア団体などが参加した「清高小学校区地域安全センター」が清高公民館に開設されました。

地域安全センターの開設を機に、統一デザインの防犯ベストを新調し、参加者の皆さんからは、今後の活動に対する強い意気込みが感じられました。



清高小学校区地域安全センターの開設

地域において様々な防犯活動が行われています！

豊中市の大池小学校では、毎月1回、子ども安全見まもり活動協力ボランティアの皆さんが、校内の大池地域安全センターに集まって、子どもの下校の安全確保と、通学路の安全点検を行っています。

活動は、出発前に大池地域安全センターにメンバーが集まり、揃いのベスト・帽子を着用し、各班ごとにパトロールコースを確認し活動終了後は、センターに集まって、点検結果などについて報告し、情報共有を図っています。



大池地域安全センターの見まもり活動



葦原小学校区地域安全センターの見まもり活動

茨木市の葦原小学校区地域安全センターでは、登校時並びに下校時に交差点における見まもり活動と、地区内での青色防犯パトロール活動を実施しています。

同小学校区では、地域の連携が強く、多くの方々が見まもり活動に参加しています。

見まもり活動では、寒風が吹く中も、地域の方が、交差点で帰宅する子ども達に「おかえり」と声をかけており、子ども達も、学校での出来事を話すなど、親密なコミュニケーションがとれているのがうかがえました。

岸和田市の城内小学校では、平成15年から、小学校区内の5つの町が日ごとに交代で青色防犯パトロール活動を実施しています。

活動当初は、わずか2人だけで自転車に乗って活動を行っていましたが、年々近隣の町の協力を得、現在の形となりました。

過去に、子どもに不審者と思われ泣かれるといったことがあり、今は、参加者も増え、お揃いのジャンパーを着て子ども達の通学路の安全を確かめるために日々活動されています。



城内小学校の見まもり活動